

セメントやセメント系固化材は、天然資源を原料としているため、クロム等の重金属が極微量含まれています。そのため、これまでのセメントやセメント系固化材を使用して改良した固化処理土から、条件によっては六価クロム溶出量が土壤環境基準値を超えて溶出する恐れがあることが判りました。

このような、六価クロム溶出の恐れがある特殊土に対し、有効なセメント系特殊土用固化材として開発したのがネオセラメントSS(NCR-SS)です。



「ネオセラメントSS」の特長

①改良土からの六価クロム溶出量を低減します。

従来のセメントやセメント系固化材で改良した場合、土の種類によっては固化処理土から六価クロムが溶出する恐れがありますが、ネオセラメントSSを使用することにより、溶出量を低減することができます。

②いろいろな土質に対応できます。

比較的良質な砂質土から、軟弱な有機質土やヘドロおよび建設発生土の固化までいろいろな土質に対応することが出来ます。

③様々な施工方法に対応できます。

粉体のまま固化対象土と混合することはもちろん、スラリーあるいはソイルモルタルとしても固化することが出来ます。

「ネオセラメントSS」の性状

密度 (g/cm ³)	化学成分(%)			
	SiO ₂	Al ₂ O ₃	CaO	SO ₃
3.05	21.0~25.0	7.0~9.0	52.0~56.0	<12.0

六価クロム溶出試験例

改良対象土の性状により改良土から極まれに土壤環境基準以上の六価クロムが溶出する場合がありますので、事前に試験を行って確認することが大切です。

試料土	添加量(kg/m ³)	六価クロム溶出量(mg/l)
砂質土 自然含水比=20.6% 湿潤密度=2.017g/cm ³	50	N.D
	100	N.D
	150	N.D
粘性土 自然含水比=69.6% 湿潤密度=1.558g/cm ³	100	N.D
	150	N.D
	200	0.03
火山灰質粘性土 自然含水比=117.2% 湿潤密度=1.380g/cm ³	100	0.03
	150	N.D
	200	N.D

試験方法:環境庁告示46号法に準拠

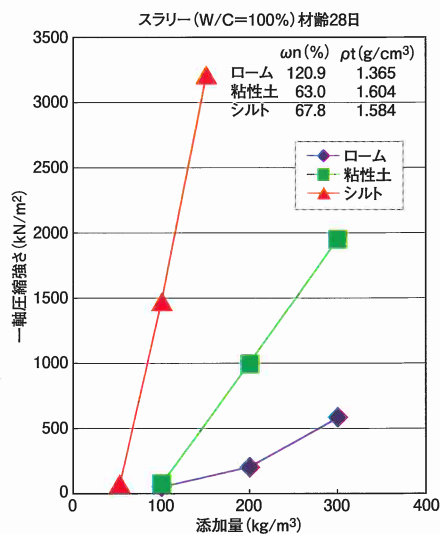
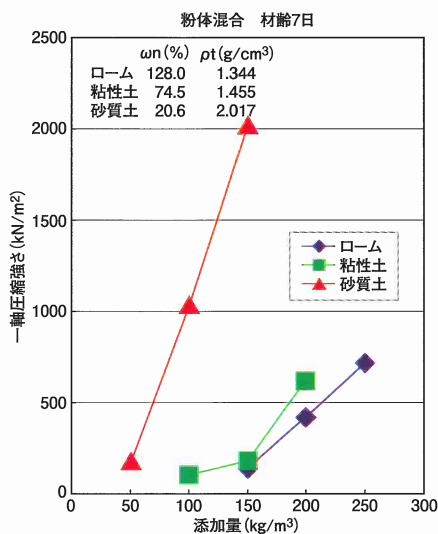
土壤環境基準:0.05mg/l以下。ただし、当該土壌が地下水から離れており、現状において当該地下水中の六価クロム濃度が0.05mg/lを超えない場合は0.15mg/lが適用されます。

N.Dは定量下限未満で0.02mg/l以下であることを示します。

セメント系固化材(特殊土用)

ネオセラメントSS(NCR-SS)

室内配合試験例 同じ種類の土質でも、含水比、湿潤密度、粒度分布等の違いにより強度発現が大きく変動する可能性がありますので、事前に配合試験を行って確認することが大切です。



荷姿

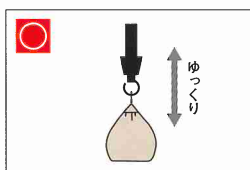
バラ	1tフレコン	袋詰め
○	○	○ (25kg)

取り扱い注意<CAUTION>

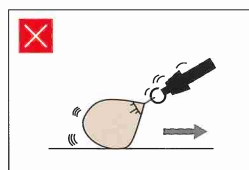
1. 防塵マスク、防塵メガネ、手袋等の保護具を必ず着用してください。また、長時間吸入すると、人体に害を及ぼす恐れがあります。
2. アルカリ性のため、皮膚に直接製品が触れないようにしてください。また、目に入った場合は迅速に大量の水で洗い、専門医による適切な処置を受けてください。
3. ネオセラメントSSは地盤改良用固化材ですので、モルタル・コンクリートには使用しないでください。
4. ネオセラメントSSを過剰に添加した場合に、結合水の不足により固化不良を起こしたり、土との混合が不十分な場合に膨張を起こす可能性がありますので、適正な添加量で十分に混合して使用してください。
5. ネオセラメントSSには極微量のクロム化合物が含まれており、これを用いた改良土から極まれに土壤環境基準を超える六価クロムが溶出する場合があります。使用に際しては事前に試験を行って溶出量を確認してください。

フレコン取り扱いのお願い

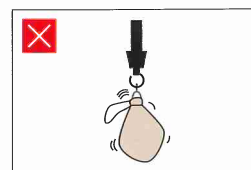
1 吊上げる場合



急な吊上げ、吊おろしはしないでください。



横びきはしないでください。

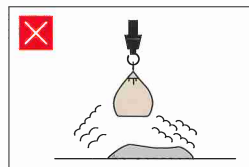


吊ロープのフックを正しく掛け、片づりはやめてください。

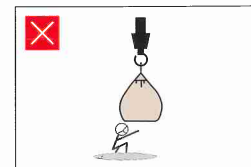
2 排出する場合



内容物は残留しないよう全量排出してください。

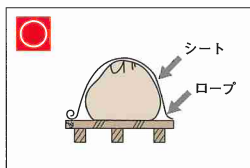


発塵防止の為にできるだけ低い位置で排出してください。



吊上げたフレコンの下に入らないでください。

3 保管する場合



仮貯蔵の際、水が浸入しないようにして貯蔵してください。



問い合わせ先

株式会社デイ・シイ セメント事業本部 営業部

〒210-0005 川崎市川崎区東田町8番地 パレール三井ビルディング17F
TEL:044(223)4753 FAX:044(223)4759
<http://dccorp.jp/>

技術センター

〒210-0854 川崎市川崎区浅野町1番17号
TEL:044(333)0618 FAX:044(355)4010